

# BLOF理論入門講座～科学的な有機栽培を学んでみませんか？

(講師：小祝政明先生)

BLOF理論とは、小祝政明先生が提唱する「Bio Logical Farming : 生態系調和型農業理論」のことです。植物生理を理解した上で、有機農業を3つの観点(ミネラル肥料・アミノ酸肥料・団粒構造の土壌づくり)に分けて考察し、科学的・論理的に有機農業を進めていく理論です。



## 【受講対象者】

新規就農希望者、より高品質な野菜の栽培を目指す農業者、美味しくて高品質な野菜に関心のある流通業者等



## 【講師】 小祝政明氏

(株) ジャパンバイオフィーム代表取締役、(社) 日本有機農業普及協会代表理事

## 【スケジュール・内容】

日時・会場	内容
1/17(土) 10:00～17:30 会場: レストラン アラペサ2F 千葉県千葉市若葉区御成台3-1168-14	BLOF理論の概要・仕組み ・作物の栄養価について ・植物生理と高品質多収穫栽培の仕組み ・BLOF理論に基づく技術と知識 ・アミノ酸肥料・ミネラル肥料・堆肥について ・土壌分析について ・施肥設計について ・太陽熱養生処理について ・BLOF理論の仕組みについて 成功例の紹介
1/18(日) 9:30～16:00 会場: レストラン アラペサ2F 千葉県千葉市若葉区御成台3-1168-14	土壌分析に関する学習 ・土壌分析についての考え方 ・土壌分析方法とその結果の見方・活かし方 ・土壌分析の実践 作物栽培における有機物の役割に関する学習 ・肥料と堆肥の役割について (アミノ酸肥料・ミネラル肥料・中熟堆肥) ・植物生理と肥料の関係
1/24(土) 10:00～16:00 会場: レストラン アラペサ2F 千葉県千葉市若葉区御成台3-1168-14	施肥設計の学習 ・施肥設計の考え方 ・施肥設計の実践(参加者全員) 肥料の特性・肥料成分の拮抗作用に関する学習 農業における微生物利用に関する学習 まとめ テスト



※BLOF理論入門講座に関する内容詳細は、(有)フォトシンセシスのホームページ「BLOF理論入門講座」に記載しております。→ <http://www.t-kougousei.jp/BLOF/>

## 【費用】

全3回計 30,000 円 (税別)

## 【会場】

レストランアラペサ 2F

URL : <http://www005.upp.so-net.ne.jp/pesa/>

千葉県千葉市若葉区御成台 3-1168-14

### ★アクセス★

千葉都市モノレール千城台駅下車、京成バス「御成台車庫」行

御成台中央下車 徒歩 1 分

京葉道路貝塚 IC 下車後、車で 15 分



## 【主催】

有限会社フォトシンセシス <http://www.t-kougousei.jp/>

本社 : 東京都調布市多摩川 7-16-24

※千葉県で一般市民向けに平成 18 年から有機栽培の教室を運営している会社です。

## 【申し込み方法・問い合わせ先】

申し込みは、(有)フォトシンセシス WEB サイトにて申込み画面に必要事項をご記入の上、送信してください。

なお、講座詳細は、WEB サイト <http://www.t-kougousei.jp/BLOF/>にてご案内しております。

※「BLOF 理論入門講座」で検索していただくと、パソコン画面上の方に出てきます。

お問い合わせは [info@t-kougousei.jp](mailto:info@t-kougousei.jp) まで

## 【申し込み締切】

2015 年 1 月 15 日まで

「BLOF 理論入門講座」で検索

## 【講師紹介】

小祝政明 1959 年 茨城県生まれ

中学・高校生時代に食品添加物が原因で体に変調をきたし、自然食療法で治療。食材の形は同じでも中身は違うことに気づき、26 歳から日本全国津々浦々安全な作物を生産している生産者を訪ね、現場で学習。その後、茨城で自ら土地を購入し、米・野菜づくり実験に 7 年間取り組む。またその後、オーストラリアの有機農業研究所に微生物エンジニアとしてスカウトされ、牧場の土壌改良に取り組む。オーストラリアと筑波で微生物が有機物を分解し、その有機物が再度有機物になっていくシステムを学ぶ。

現在は、有機肥料の販売、コンサルティングの(株)ジャパンバイオフィーム(長野県伊那市)代表を務めながら、経験やカンに頼るだけでなく客観的なデータを駆使した有機農業の実際を指導している。(社)日本有機農業普及協会代表理事。

主な著書に「有機栽培の基礎と実際」「有機栽培の肥料と堆肥」「有機栽培のイネづくり」「有機栽培の野菜づくり」「有機栽培の果樹・茶づくり」「実践!有機栽培の施肥設計」(農山漁村文化協会)がある。

